



とき
変革の時代

過去から未来へ

我らの想いは

ひら
自ら切り輝き传承する

50th

全国商工会青年部50年史

未来への
おくりもの

全国商工会連合会／全国商工会青年部連合会

50th

全国商工会青年部50年史



商工会青年部宣言

かけがえのない人たちと、かけがえのない地域の為に

われわれは、自己の利益追求のみならず、国家を基盤とした社会の恒久的な平和と繁栄を実現する。

若き事業家として、何人にも侵されない自立した経営を確立し、地域の商工業を躍動させ、地域の一員としての責任を自覚すると共に先人の教えに学びつつ、未来に向けた活力ある社会を創出する。

この美しい国、日本に生きる者として、地球の環境問題を捉え、われわれだけでなく、次世代の人々の為に、継続的な運動を推し進める。

そして、全ての国家、民族との交流を積極的に図り永続的共生を同じ時代を担う者としてここに誓う。

誓いの言葉

1. われわれ商工会青年部は、創造力と行動力をいかし、地域振興発展の先駆者となる。
1. われわれ商工会青年部は、商工会の後継者であり、将来の中核として、組織活性化の推進力となる。
1. われわれ商工会青年部は、社会一般の福祉の増進に努め、新しいまちづくりの原動力となる。



section 1	刊行によせて 青年部記念史の刊行によせて 中小企業庁 長官 宮本 聡 ——— 1 刊行によせて 全国商工会連合会 会長 石澤 義文 ——— 2 商工会青年部50年史の刊行にあたって 全国商工会青年部連合会 会長 植村 和宣 ——— 3
section 2	都道府県商工会青年部連合会会長 ——— 4
section 3	歴代全国商工会青年部連合会会長 ——— 6
section 4	商工会青年部・女性部 全国組織化50周年記念式典 第18回商工会青年部・女性部 全国大会福島大会 ——— 7
section 5	都道府県の青年部トピックス ——— 13
section 6	座談会 ～これからの青年部・女性部について語ろう～ ——— 60



青年部記念史の刊行によせて

中小企業庁
長官 宮 本 聡

このたび、「商工会青年部・女性部全国組織化50周年記念史」が刊行されるに当たり、心からお祝い申し上げます。

商工会の青年部は、昭和42年3月に全国組織化されて以来、半世紀にわたり商工会活動や地域社会の発展に大きく貢献してこられました。

商工会青年部の皆様におかれましては、若手経営者のリーダーとして、青年らしい創造力と強い実行力を発揮し、ビジネスマッチングや若手起業家の養成などに積極的に取り組まれ、商工業の振興に大変な御尽力をいただいております。

また、東日本大震災や平成28年熊本地震などの災害に際しては、そのネットワークを活かし、救援物資の配送や炊き出しなどにおいて熱心な支援活動をしていただきました。この機会をお借りして、全国約4万4千人の部員の皆様に対し敬意と謝意を表します。

近年、中小企業・小規模事業者の経営者の高齢化が進んでおり、次世代を担う人材をいかにして育成していくのかということが大きな課題となっています。このような中、若い活力である商工会青年部の皆様が、これまでとは異なる新たな息吹を吹き込み、企業や地域を牽引していくことが、豊かな地域経済を実現する上で重要なことであると考えます。

中小企業・小規模事業者が活発な活動を行うためには、地域における総合経済団体としての商工会が果たされる役割は非常に大きく、その若きエネルギーで商工会の活力の源泉ともなっている青年部の皆様への期待は従来にも増して高まっているものと考えております。

青年部の皆様におかれましては、社会からの大きな期待に積極的に応え、益々の飛躍を遂げられることを御祈念申し上げます。

最後になりますが、本史の刊行が商工会青年部に対する認識と理解を一層深める契機となりますことをお祈りするとともに、本史の編纂に当たられた多くの方々の御努力に心から敬意を表してまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



刊行によせて

全国商工会連合会
会長 石澤 義文

商工会青年部・女性部が全国組織化されてから、50年の記念すべき年を迎えることとなりました。この間、社会や経済が大きく成長・変化してきたことに伴い、商工会青年部・女性部も組織を強化し、地域社会の発展に大きな貢献をしてきました。

先般、福島県で「商工会青年部・女性部全国組織化50周年記念式典」並びに「第18回商工会青年部・女性部全国大会」が盛大に行われ、全国の青年部員・女性部員でこの記念すべき年を祝うとともに、次の50年に向けて力強い一步を踏み出されました。これも歴代全青連会長・全女性連会長をはじめとする関係各位のご尽力によるものであり、改めて深く敬意を表するものであります。

ご高承のとおり、我が国の経済は地域や業種によるばらつきは見られるものの、全体的には緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、個人消費の冷え込み、若者の流出による労働力不足、円安による原材料費の高騰などの経営課題が山積しており、我々の中小企業・小規模事業者にとっては引き続き厳しい環境におかれております。

このような厳しい状況においても、商工会青年部においては、若き活力と情熱を結集することで商工会事業の一翼となり、地域活性化の原動力となることが従来にも増して期待されているところであります。また、全国の青年部員のネットワークを活かした域外交流の活性化や自己成長を図る研修会の実施等を行うことで、青年部員の事業所が小規模事業者向けの施策を活用して、更なる事業の発展をしていくための仕組みづくりが推進されることを期待しております。

これからも、商工会青年部の特性を活かし、地域活性化並びに社会一般の福祉の増進にご尽力いただきたいと思っております。

全国商工会連合会といたしましても、青年部・女性部と商工会が一層活性化されますことをご期待申し上げますとともに、できる限りの支援をさせていただくことを申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



商工会青年部 50年史の刊行にあたって

全国商工会青年部連合会
会長 植村 和 宣

全国商工会青年部連合会は、昭和42年3月に26県1,151部、部員総数43,000名で結成されてから、今年で50年を迎えることができました。

これもひとえに国、都道府県、市町村、並びに全国商工会連合会、都道府県商工会連合会、市町村商工会関係者の皆様のご指導・ご鞭撻の賜物と感謝申し上げますとともに、結成以来、今日まで全国の青年部相互の連携強化や地域活性化にご尽力された歴代会長をはじめ諸先輩方に対して厚く御礼を申し上げます。

ご高承のとおり、商工会青年部出身の松村経済産業副大臣・渡辺顧問・宮本顧問をはじめ多くの方々のご尽力をいただき、平成26年に「小規模企業振興基本法」が制定され、小規模事業者支援や地方創生に向けた施策が多数打ち出され、国内の中小企業・小規模事業者を取り巻く状況は一変しました。私たち青年部は変わりゆく時代の変化にいち早く気づき、即応するため、一層の自己研鑽と青年部の絆を活かした変革が強く求められております。

全国商工会青年部連合会では、全国の青年部員のネットワークを活かした域外交流の活性化や自己成長を図る研修会の実施等を通じて、青年部員の事業所が中小企業・小規模事業者向けの施策を活用して、更なる事業の発展をしていくための仕組みづくりを推進しております。

商工会青年部は地域の先駆者として、その創造力と行動力を発揮して時代を切り開いていくことを強く期待されている存在です。地域を担う青年経済人として、また事業の経営者・後継者として、商工会青年部活動を通じて、地域活性化及び社会一般の福祉の増進に貢献する決意であります。

この50周年という節目にあたり、商工会青年部の皆様と地域振興のために歩んでこられた足跡をたどりながら、これからの50年に向けて力強い一步を踏み出すために、商工会青年部活動をますます活性化させることを誓うとともに、皆様の今後益々のご健勝を心から祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

都道府県商工会



会 長
植村 和宣(奈良)



理 事
仁木 義人(北海道)



東條 一彦(青森)



副会長
古舘 聖人(岩手)



小松 光(宮城)



監 事
田中 洋平(秋田)



渡辺 剛(山形)



理 事
河治 徹(福島)



栗山 秀樹(茨城)



水井 正行(栃木)



星野 飛雄馬(群馬)



理 事
大澤 宏貴(埼玉)



佐久間 洋樹(千葉)



矢部 要(東京)



理 事
小泉 安生(神奈川)



小堺 豊(新潟)



重盛 秀敏(長野)



副会長
前島 郁夫(山梨)



鈴木 一生(静岡)



副会長
児島 秀則(愛知)



栄 敏彦(岐阜)



谷本 僚平(三重)



理 事
中瀬 淳哉(富山)



須谷 嘉貴(石川)



丸木 豪(福岡)

青年部連合会会長



理事
中村 雅也(滋賀)



進藤 啓(京都)



辻 貴仁(奈良)



副会長
植田 利弥(大阪)



監事
久保田 一三(兵庫)



岡井 良樹(和歌山)



長田 孝(鳥取)



高橋 大輔(島根)



監事
岩野 友彦(岡山)



理事
越智 俊之(広島)



伊藤 孝之(山口)



副会長
井内 高志(徳島)



竹内 良輔(香川)



山田 宏介(愛媛)



理事
川村 太志(高知)



永田 丈士(福岡)



田中 裕一郎(佐賀)



山川 忠久(長崎)



副会長
木野 祐樹(熊本)



首藤 優作(大分)



杉田 憲司(宮崎)



白石 誠(鹿児島)

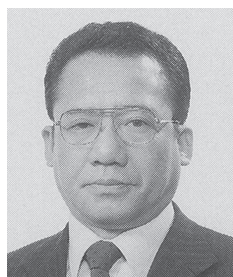


理事
西表 晋作(沖縄)

歴代全国商工会青年部連合会会長



大 辻 繁 雄
初代会長(富山)



中 村 藤太夫
2代会長(滋賀)



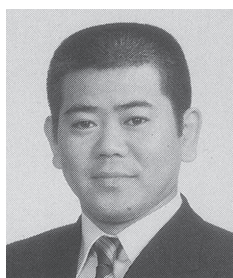
高 橋 康 之
3代会長(北海道)



佐 藤 祐 一
4代会長(栃木)



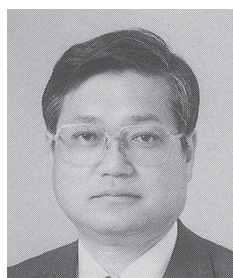
佐々木 大 和
5代会長(岩手)



照 屋 義 実
6代会長(沖縄)



美 馬 達 男
7代会長(徳島)



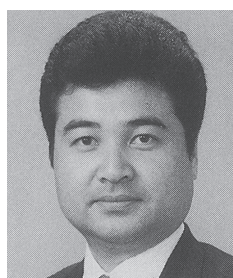
篠 原 公 七
8代会長(香川)



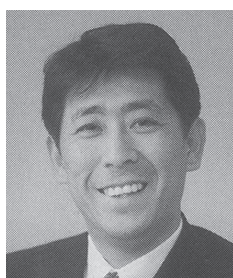
岸 本 平 晃
9代会長(大阪)



吉 次 立 身
10代会長(岡山)



木 嶋 勘 逸
11代会長(岐阜)



吉 村 洋
12代会長(長崎)



松 井 光 規
13代会長(広島)



寒 郡 茂 樹
14代会長(千葉)



松 村 祥 史
15代会長(熊本)



大 高 衛
16代会長(千葉)



植 村 政 人
17代会長(福岡)



宮 本 周 司
18代会長(石川)



宮 窪 大 作
19代会長(富山)



宮 本 博 史
20代会長(熊本)



植 村 和 宣
21代会長(奈良)

商工会青年部・女性部
全国組織化50周年記念式典
第18回商工会青年部・女性部
全国大会 福島大会

大会1日目
第1部



1 ビッグパレットふくしま 開場前

2 青年部員・女性部員あわせて約5,200名が参加

3 古館全青連副会長の開式の辞

4 国歌斉唱

5 物故者追悼

6 植村全青連会長による式辞

7 石澤全国連会長による式辞

8 世耕経済産業大臣による祝辞
(代読:松村経済産業副大臣)

9 内堀福島県知事による祝辞

大会1日目
第1部



10



11



12



13



14

大会1日目
第2部



15



16



17



18



19



20



21

- 10 中小企業庁 長官表彰〈青年部功労者〉
中瀬淳哉さん(富山・入善町商工会青年部)
- 11 全国商工会連合会 会長表彰〈優良青年部〉
あだたら商工会青年部(福島)
- 12 全国商工会青年部連合会 会長表彰〈優良青年部〉
豊岡市商工会青年部(兵庫)
- 13 全国商工会青年部連合会 会長表彰〈青年部功労者〉
吉田忠敬さん(熊本・御船町商工会青年部)

- 14 被表彰者代表謝辞
中瀬淳哉さん
- 15 第2部 第18回商工会青年部・女性部
全国大会(福島大会)開会前
- 16 河治福島県青連会長による開会宣言
- 17 豊田福島県連会長による挨拶

- 18 松村経済産業副大臣による祝辞
- 19 宮本中小企業庁長官による祝辞
- 20 全国連・全青連顧問
渡辺参議院議員による祝辞
- 21 全国連・全青連顧問
宮本参議院議員による祝辞

大会1日目

第2部

上段左から
及川善弥さん(東北・北海道ブロック)
佐々木さちさん(中部ブロック)
渡邊秀典さん(中国・四国ブロック)



主張発表大会



下段左から
矢澤雄一郎さん(関東ブロック)
谷垣賢司さん(近畿ブロック)
石津聖彦さん(九州ブロック)

22

大会2日目

第2部

23



24

ふくしまVOICE



創 人を創り

福島県商工会女性部連合会
副会長 二瓶恵美子さん

想 ふるさとを想い
福島県商工会青年部連合会
理事 佐藤健太さん

奏 未来を奏でる

福島県商工会青年部連合会
副会長 押田洋平さん



25



26



27

22 各ブロック代表の主張発表者

24 ふくしまVOICE ～想・創・奏 次の100年へ～
プレゼンテーション

26 次回開催県PR
沖縄県商工会青年部連合会

23 ふくしまVOICE ～想・創・奏 次の100年へ～
オープニング

25 主張発表大会最優秀賞表彰
最優秀賞 及川善弥さん(東北・北海道ブロック)

27 谷口全女性連副会長による
第2部 閉会のことば

大会2日目
第3部

28



29



青年部員
増強運動表彰

上段左から 部員増加数表彰(新潟)、部員増加数表彰(茨城・取手市)、新規加入数表彰(新潟)、新規加入数表彰(茨城・取手市)、部員増加比率表彰(鳥取)
中段左から 部員増加比率表彰(山口・熊毛町)、被表彰者のみなさん、女性部員新規加入数表彰(埼玉)
下段左から 女性部員新規加入数表彰(千葉・富里市)、女性部員新規加入数表彰(三重・みえ熊野古道)、若手部員新規加入数表彰(新潟)、
若手部員新規加入数表彰(福岡・久留米南部)

30



商人(AKINDO)ネットワークPR

上段左から 有限会社たなか(香川・三豊市)、株式会社島ごころ(広島・尾道しまなみ)、フラワーショップ瑞香(香川・小豆島町)、
有限会社清和製作所(茨城・つくば市)、菅久菓子店(岩手・陸前高田)
下段左から 常盤商店(茨城・土浦市新治)、アートポップマシコ(福島・矢祭町)、株式会社伊藤拡播社(兵庫・宍粟市)、黒左枝(兵庫・新温泉町)、
ITサポートセンタータッチ(愛知・日進市)

31

28 井内全青連副会長による開会挨拶

29 田中秋田県青連会長による
商工会青年部宣言・誓いの言葉

30 青年部員増強運動表彰

31 商人(AKINDO)ネットワークPR

大会2日目
第3部



32



33



34



35



36



37



38



39



40



41



42



43

32 全国青年部長会議 (植村全青連会長挨拶)

33 熊本地震復興支援のお礼 (木野全青連副会長)

34 災害復興支援関連事業報告
(井内全青連副会長)

35 政策提言・政策要望関連事業報告
(前島全青連副会長)

36 組織基盤強化・推進事業報告
(木野全青連副会長)

37 情報ネット・活用推進事業報告
(児島全青連副会長)

38 記念事業・交流推進事業報告
(古舘全青連副会長)

39 次期会長予定者発表 (越智全青連理事)

40 大会旗引継ぎ

41 47都道府県青連会長による大団円

42 前島全青連副会長による政策提言

43 植田全青連副会長による閉会の辞

大会2日目
第3部

この「政策提言」と「行動指針」は、商工会青年部組織化50周年の節目に、今後の青年部の在り方について提言をまとめ、次の50年を迎えるにあたり、青年部としての行動規範となるものを対外的に発信したものです。

政策提言

かけがえのない人たちと かけがえのない地域のために
そして世界に誇ることができる美しい国 日本のために
我々の先人たちはこの半世紀間 日本の発展に力を尽くしてきた

しかし今日 人口減少・少子高齢化が進み
我々の大切な地域が悲鳴をあげている

先人たちから受け取ったバトンを 次の時代に繋ぐためにも
我々は前を向き ただ前を向き 歩き続けなければならない
この日本の未来は 我々の行動にかかっている

かけがえのない人たちと かけがえのない地域の未来のため
我々は今日ここで 今後50年に向けての行動指針を提言する

行動指針

1. 青年経済人としての学びの促進

【我々商工会青年部は、青年経済人として研鑽することにより、地域を担うリーダーとなる】

1. 地域資源や地域人財の発掘・育成

【人口減少や少子高齢化は、我々が住む地域に様々な課題をもたらしている。資源・人財といった地域の宝を発掘・活用し、さらなる地域振興に努める】

1. 防災対策の強化・充実

【全国各地で甚大な自然災害が起こっている。有事の場合は地域を担う若者として、率先して行動するとともに、平時は防災体制の強化に努める】

1. 産・官・学・医・農連携の推進

【地域の商工業発展のため、他団体や自治体そして教育機関等と連携し、新たな産業を創出する】

1. ALL IMPULSEネットワーク

【我々商工会青年部は、住んでいる地域は違えども、同じ志をもつ家族である。さらなるネットワークの構築に努め、ALL IMPULSEで、明るい未来創造に向けて挑戦し続けていく】



2 北海道 Hokkaido

1 第1回商工会青年部全国大会

記念すべき第1回大会は北海道にて開催されました。青年部宣言は第1回大会の北海道宣言でご存知でした？

2 商品力強化支援研究会

新商品開発や既存商品のブラッシュアップと販路開拓を目的に実施し、大きな成果を挙げている主力事業です。

3 後継者育成塾

基本コースと経営革新コースを開催し、経営分析の基礎力を養成すると共に、経営革新計画の承認を目指します。

4 地域振興活動事業

道内各地域にて、特産品開発などの先進的な地域振興事業と、子供たちへの企業経営体験事業を行っています。

5 エクセレントカンパニー事業

製造業の青年部員を対象に新技術・新商品開発や工程管理・品質管理等を学び、技術・知識の向上を図ります。

6 地域リーダー養成事業

地域産業を牽引、活性化させるための方策を学び、地域の持続的発展に寄与する地域リーダーを養成します。



1



2



たんげ
あずましーど
青森



青森

Aomori

3



1 東北新幹線七戸はやぶさPR隊

東北新幹線「はやぶさ」のかぶり物と緑色の全身タイツで各地イベントに参加しました。

2 商工会青年部員研修会in青森

東北六県・北海道の商工会青年部員が青森市に集結!予選を勝ち抜いた7名が熱い思いを発表しました。

3 全国青年部主張発表東北代表

七戸町商工会青年部の中畑一君が東北六県北海道ブロック代表として青森県からはじめて選出されました。

4 P-1(ピザワン)グランプリ

青森県産食材をふんだんに使った独自ピザを製作しました。販売開始前に長蛇の列が!

5 ふれあい広場まつり開催

小学校低学年までの子供たちを対象に、働くことの大切さや将来の夢をみつけるきっかけ作りをしました。

6 プロスポーツ選手とのふれあい

スポーツを通じた地域活性化を目的にプロチームを招致して子供向けのバスケットボール教室を開催しました。



4

5



6



1



2



来て見てかんせ、
岩手の四季も
よかんすよ！



岩手

Iwate

3



1 東北北海道青年部員交流研修会

平成24年10月に327名が岩手県に集い、経営者としての資質向上とネットワーク構築を図りました。

2 復興支援の決意を新たに！

東北北海道復興支援野球大会を開催。被災部員も参加し被災地支援の決意を新たにしました！

3 復興支援で販路開拓！

平成27年2月に、東京都で被災青年部員の販路開拓を目的に「いわてのいいもん・うまいもん どどんと市」開催！

4

4 世界で通用する経営者になる！

台湾との交流連携強化を図りながら世界の経済を学び青年経営者としての見識を高めています。

5 ハチマンタイラー参上！

ハチマンタイラーは八幡平市商工会青年部が結成した岩手を代表するご当地ヒーローです！

6 岩手県青年友好4団体でタッグ！

岩手県青年友好団体トップ会談の締結式と本県初開催の全国青年友好団体トップ会談が盛岡市で開かれました。



5

6



1



5



震災に負けない
宮城を
見に来て下さいん！

宮城

Miyagi

2



3



6



4

1 宮城県商工会青年部連合会創立50周年式典
歴代会長を含め多くのOBにも参加いただき、「団結宮城」を合言葉にこれから50年の絆を確かめ合った。

2 被災地サミット
東日本大震災の記憶を風化させず、今後の災害対応に活かすため、県内代表によるディスカッションを行った。

**3 商工会青年部復興祭2012
～未来へ向かって～**
商工業者の販路を開拓し震災からの早期復興を図るため、各種イベントと共に地場産品や地域産業をPRした。

4 奥州統一「芋煮の陣」
岩手宮城内陸地震復興祈念事業。栗駒山を囲む3県に現在は福島県を加え、毎年鍋合戦を繰り広げている。

5 どんと祭
正月飾りを焼いた火にあたって無病息災を願う祭り。青年部員が中心となって裸参りを実施する地域も多い。

6 第10回全国商工会青年部全国大会
「宮城に集え強者達 そして見せよう伊達な武"商"魂」をテーマに、ビジネスのネットワーク強化を図った。



1



3



うめもんいっぽい！
あきたさけ！



秋田

Akita

2



1 キッズマート事業

地元の小学生が地域の人と触れ合いながら商売のコツを学びました。

2 おもてなしまつり

地域の特産品や地元食材にこだわった「イケめし」を販売し、まつりを盛り上げました。

3 クリーンアップ事業

青年部全国統一事業「絆」感謝運動として、愛すべき地元の街をきれいに清掃しました。

4 青年経営セミナー

自社の経営について、これまでを振り返るとともに、今後の経営ビジョンを考える機会になりました。

5 青年部長サミット

商工会における青年部のあり方や事業実施に対する共通認識を図りました。

6 秋田のなまはげ

秋田さきてけれ～ 歓迎するど～！

4



6



5



1



2

んまいもの
いっぱい
あるんだぞね



山形

Yamagata

3



1 YBCラジオ「やまがた商人ネットワーク」
県内すべての商工会青年部が、ラジオ生放送に出演し、活動内容を県民にPRしている。

2 商工会青年部スポーツ交流大会
青年部員が誰でも参加できるような地域の特色あるスポーツ大会を実施している。(スボレック、スリッパ卓球、フットサル、ビーチバレー等)

3 地域課題解決支援事業
公募により県内の商工会青年部員が一堂に会した場でプレゼンテーションを行い、各地域が抱える課題に対し青年部の目線で解決に向けた取り組みを実施している。

4 ビジネス化モデル事業
農林水産物、観光資源等の地域資源を活用し、又は地域ニーズに対応した新商品及びIT等を活用した新サービスの開発・事業化に取り組み、その成果について発表会を実施している。

5 部員増強コンテスト
県内商工会青年部で、増加数・増加率の部において、成績優秀な青年部を表彰。

6 リーダー研修会
地域に役立つ人材になるために、青年部長、副部長等を対象に研修会を実施。

4



6

5



1



4



四季折々の
大自然を
感じに来てくたしよ



福島

Fukushima

2



1 商工会青年部・女性部 全国組織化50周年記念式典

"想・創・奏へふるさとを想い、人を創り、未来を奏でる 友よ、ほんとうの空へ"をスローガンに、全国から有志が集結した。

2 第18回商工会青年部・女性部 全国大会福島大会

"想・創・奏へふるさとを想い、人を創り、未来を奏でる 友よ、ほんとうの空へ"をスローガンに、全国から有志が集結した。

3



3 がんばろう福島復興支援PR事業

東日本大震災復興支援事業として、「赤坂サカス広場内」にて福島県の安心安全を全国にアピール。

4 三春滝桜

国の天然記念物の指定を受けており、日本三大桜のひとつ。

5 大内宿

むかしといまが会える場所(国重要伝統的建造物群保存地区)

6 商工会うまいもんNo.1決定戦

東日本大震災復興支援事業として、「福島の食」に関する風評被害の払拭を目的に県内のご当地グルメを集め、No.1決定戦を開催。

6



5



1



4



茨城県は
のびしろ
日本一だっぺー！



茨城

Ibaraki

2



1 日本三名園のひとつ偕楽園

2月～3月には観梅客で賑わい、初夏にはツツジ、秋にはハギの花が咲き、シーズンを通して楽しめる。

2 部長会議グループ討議結果発表

「商工会青年部のこれから」をテーマに青年部長を中心とした参加者から活発な意見が出された。

3 絆プロジェクト2015・共進力

3委員会（広報・研修・交流）で協議を重ね、物産展・研修会・部員交流会を開催した。

4 憧れのピッチで全力プレー！

「カシマサッカースタジアム」において、第5回ジュニアサッカー大会（インバルスカップ）を開催した。

5 第47回茨城県商工会青年部野球大会

県内各地区代表等7チームが熱戦を繰り広げ、常陸大宮市商工会青年部が2連覇を達成した。

6 第47回茨城県商工青年の主張発表会

青年部活動への熱い思いを発表した県内各地区代表12人と、栗山県青連会長。

3



5



6



1



2

青年部を
“学び”の場とし、
自企業の経営基盤の
強化を図ります。



栃木 Tochigi

1 青年部リーダーセミナー

若手経営者・後継者としての資質向上、地域リーダーの養成を目的に毎年開催している。

2 経営計画策定セミナー

県内6か所で経営計画の策定を、参加者同士のディスカッションを交えながら作り上げていく。

3 “スー爺サンタ”の軽トラ市(H24)

商工会連合会・女性部連合会と共催で開催し商店街の需要喚起と商工会地域の物産販売を促進した。

4 関ブロ連絡協議会主張発表会(H25)

“学び”をテーマに、関東ブロック商工会青年部員が栃木県に一堂に会した。

5 県青連45周年記念式典(H24)

H29年度に設立50周年を迎える。

6 県青連現執行部

次代を担う経営者として、青年部を自ら鍛える“学び”の場として事業を実施して参ります。



3



5

4



6



1



3

心にググッと
群馬県だんべ



群馬

Gunma



2

1 関東ブロック青年部主張大会

関東ブロック商工会青年部連絡協議会平成27年度前期代表者会議・主張大会が当県で行われました。

2 おもてなし物産展2015

群馬県の魅力ある土産品やグルメを、関ブロ前期大会参加者へのPRを目的とした展示販売を行いました。

3 高崎だるま

高崎だるまは200年以上の歴史を持ち、主張大会関東大会の発表者への記念品としても好評を得ました。

4 ぐんまちゃん

ゆるキャラグランプリ2014で1位となった当県のゆるキャラ。様々なイベントに参加し群馬を盛り上げています。

5 商工会青年部グルメグランプリ

群馬県内の商工会青年部と県内高校が県産食材を使ってグルメを創作し、競い合いました。

6 経営セミナー

中小企業経営者の成功事例やリーダーシップ論を学び、自社の経営戦略に活かす研修を行いました。



5



6



4

1



2



埼玉、
なっから
よかんべえ！



3

埼玉 Saitama



1 第15回商工会青年部全国大会 「幸魂(さきたま)」

平成26年2月4日(火)・5日(水)さいたま市「さいたまスーパーアリーナ」にて開催され、過去最多となる5,204名の青年部員が埼玉県に集いました。

2 平成27年度までに14,326,223円を寄付 毎年、女性部と共に社会一般の福祉の増進に努めるべく募金活動を行い、埼玉県シラコバト長寿社会福祉基金等に寄付を行っています。

3 関東ブロック一枚岩 各県の交流を積極的に図り「関東一枚岩」となるべく、関東ブロック会長をお招きし、交流会食会を開催しました。

4 主張も強い！ 第17回商工会青年部全国大会「優秀賞」 平成27年11月10日(水)兵庫県神戸市にて開催された全国大会。埼玉県内181名の部員が見守る中、吉川市商工会青年部 小林寿朗氏が優秀賞を獲得。

5 野球も強い！関東ブロック野球大会「優勝」 平成27年10月22日(木)茨城県水戸市にて開催された「関東ブロック青年部連絡協議会 野球大会」にて、伊奈町商工会青年部が優勝。

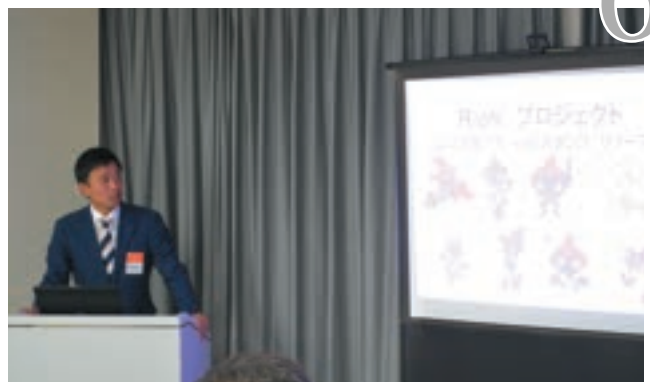
6 根底にあるのは理念経営！ 経営革新取得に向けて 経営革新計画を取得した部員を講師に招き、研修会を開催。平成27年度は県内青年部事業所にて103件の経営革新計画を取得しました。



4



5



6



1



2



3

うめえもんも
楽しいこしも
千葉にある



千葉

Chiba

1 地域貢献活動に取り組んでいます

地域のクリーン活動、子供向けイベントへの協力、B1グランプリ、NARITA空港圏青年交流会などに取り組んでいます。

2 地域の魅力を発信しています

ご当地ヒーロー、ご当地アイドル、ミスコンなど、地域のPRや地域の活性化に取り組んでいます。

3 地域活性化イベントでまちを盛り上げます

婚活イベント、関宿城まつり、盆踊りなど地域を盛り上げるイベントを主催しています。

4 特産品開発で地域を活性化

勝浦タンタンメン、大木式ソーセージ、梨サイダー、あじサイダーなど、特産品開発に取り組んでいます。

5 地域イベントに協力しています

スイカロードレース、灯籠流し、アジすくい、ご当地グルメイベント、アクアラインを活用したイベントなど、地域イベントに協力しています。

6 千葉県選出の全青連会長

寒郡茂樹氏(現富里市商工会会長)、
大高衛氏(現山武市商工会副会長)



4



5



6

1



2



3



4



5



6

1 2016きよせ親善大使を募集

清瀬市に関するPR活動を行い、知名度向上や農産物・商工業製品の販売促進に活躍。今年で9年目となる。

2 「絆」感謝運動」熊本地震支援金活動

各地で発生する災害時の復興支援活動で全国に広がる「絆」を再認識し、熊本復興支援金活動を行いました。

3 nonowa de mochitsuki

JR東小金井駅のショッピングモールnonowaの開業2周年を記念して、小金井市商工会青年部とnonowaの共同事業として餅つきイベントを実施しました。多くの子どもたちが楽しく餅つきを体験し、大好評でした。

4 感謝の心で東久留米駅を清掃

「絆」感謝運動での写真です。清掃活動は重労働ではありますが、青年部の仲間と一緒に自然と笑顔がこぼれます。

5 地域住民との交流

瑞穂町商工会青年部が、瑞穂町内のイベント「第7回残堀川ふれあいイベント」に出店。開店前に青年部員間で士気を高めているところを撮影しました。

6 昭島市商工会青年部マスコットキャラクター みっくちゃん

2014年8月に誕生した水の妖精。みっくちゃんの着ぐるみは無料で貸し出しを行い、昭島市内で開催される行事などで、地域振興発展のために活躍しています。

1



2



住み・遊ぶ・食べる！
全て揃ってます！



3

神奈川県

Kanagawa



1 第29回神奈川県商工会青年部連合会 主張発表大会

優れた青年部活動事例を共有し、相互に研鑽することにより、地域のリーダーとしての意識の高揚を図りました。

2 熊本県 益城町商工会地域視察研修

地震によって被災した、熊本県益城町商工会へ県青連正副会長が訪問。現地を視察すると共に、県下青年部からの支援金を寄付した。

3 商工会青年部「絆感謝運動」

6/10商工会の日に併せ、県下19商工会青年部が地域清掃やボランティア活動を実施した。

4 若手経営者研修事業

地域の経済活動の担い手となる若手経営者及び若手後継者並びに事業従事者を対象に実施。研修会を通じて、資質向上を図る。

5 部員増強研修会

全国的な部員の減少が見られる中、女性部員との意見交換を実施。女性独自の視点から効果的な増強活動についてディスカッションを行った。

6 県知事表敬訪問

県連、県女性連三役と共に神奈川県知事への表敬訪問を実施。商工会地域の実情や青年部活動についての陳情を行った。

4



6



5



1



3



なまら
うんめもん喰って、
いよんのびしよてえ！



新潟

Niigata

2



1 第16回商工会青年部全国大会(新潟大会)
「『義心伝心』今こそ翔けさらなる躍進のために」をテーマに全国の青年部員が集い、強い団結力と絆を深めました。

2 第16回商工会青年部全国大会(新潟大会)
平成16年に発生した新潟県中越地震により被害を受けた地域の復興状況等をパネルディスカッション形式で紹介、議論を行いました。

3 自然を飛び交うトキ(Nipponia nippon)
27年ぶりに佐渡の空を羽搏いたトキ。現在では多くのトキが野生で暮らしています。

4 事業支援(駅前ビアガーデン事業)
各青年部より集めた基金から、青年部が地域活性化事業を積極的に展開できるよう、事業費の一部を助成している。

5 事業支援(園児向けのアルパカ交流事業)
地域活性化事業、婚活事業及び子供体験事業などへ支援している。

6 新潟県青連 ゴルフ大会
県内のゴルフ場を会場に毎年開催し、青年部員の親睦・交流と体力の増進及び青年部組織の強化を図っている。

4



5



6



1



4

いいとこ、
うまいもんが
このけんまくある信州！



長野

Nagano

2



3



5



6



1 県青連結成50周年記念式典

県青連・県女性連結成50周年を記念して、平成27年10月27日長野市において記念式典を開催した。

2 県知事と語る会

県知事を囲んでの懇談会を開催。青年部活動への理解・協力を求める好機となった。

3 信州お出かけ食ベルートの発刊

平成20年度に観光ガイドブック「地元若衆・女衆がこっそりおしえる〜信州お出かけ食ベルート」を発刊。

4 「信州ふるさとまつり」の発刊

地域に受け継がれている伝統行事やまつり、イベント等を取りまとめた「信州ふるさとまつり」を発刊。

5 青年部リーダー研修会

青年部指導者、青年経営者並びに後継者としての資質向上を図り、青年部活動の活性化のためリーダー研修会を開催。

6 ビジネスフェア

「若手企業なんでもビジネスフェア」、「長野県商工会青年部ビジネス交流会」、「青年部ビジネスマッチング交流会」などの開催。

1



2

てっおまん、
こっちゃん遊びにニーしー！



山梨

Yamanashi



3



4

5



6



1 日本一の富士山

日本一の富士山をはじめ、北に八ヶ岳、西に南アルプス、東に奥秩父と四方を山に囲まれた日本有数の山岳県。

2 戦国時代の英雄、武田信玄

「甲斐の虎」の異名を持つ武田信玄は「戦国最強の武田騎馬軍団」を有していたといわれています。

3 フルーツ王国山梨

山梨県では多くの果物が作られており、特に「ぶどう」「桃」「すもも」は日本一の収穫量を誇っています。

4 日本のワイン発祥の地

日本のワイン発祥地でもある山梨。ワイナリーの数は約80社。中でも甲州ワインは、海外からの評価も高い。

5 事業承継導入マニュアルの作成

事業承継を支援するため、事業承継のタイミングや方法、また事業承継に向けての準備等について学びました。

6 青年部活性化研修の企画・開催

組織活性化を推進するための体験型研修「Impulse Gate」を企画開催。運営ノウハウや活動事例の共有化を図りました。

1



2

うちっちおいでえ、
静岡ーいーとーだて



静岡

Shizuoka

3



4



5

1 富士山

静岡と言えば富士山。平成25年6月に世界文化遺産に登録されました。

2 子供見守り隊の充実強化

商工会法施行50年を記念して、実物大ガンダムの下、幼稚園児達と子供見守り隊の充実、強化を誓いました。

3 絆感謝運動で福島へひまわりの種を送付

東日本大震災で被害にあった福島県へ、静岡で収穫したひまわりの種を送りました。

4 静岡県の青年部員のあるべき姿

青年部員としてのあるべき姿を確立し、県下商工会青年部へ周知、浸透を図りました。

5 指導者研修会・主張発表大会

平成28年度指導者研修会・主張発表大会は、三浦将幸さん（浜北）が優勝しました。

6 菜の花結婚式

菜の花結婚式は、南伊豆町が住民を挙げて祝う手作りの結婚式です。平成12年に青年部が始めました。

6



1



3



「モノづくりの地」
愛知にいりゃあッせ

愛知
Aichi



2

1 愛知県商工会青年部・女性部 設立50周年記念式典

昭和41年、愛知県に商工会青年部・婦人部連合会が設立され本年で50周年を迎え、参加者約600名で記念式典等を開催。

2 商工会青年部愛知県大会

「部員のコミュニケーションを深め、組織の活力を高めよう」を目的に開催。

3 商工会青年部部長会議

県青連・全青連からの事業報告及びリーダーセミナーを開催。

4 商工会青年部リーダーセミナー

正副部長及び常任委員等を対象にリーダーとしての資質向上を目的に開催。

5 青年部・女性部合同指導者講習会

通常総会終了後に女性部と合同で指導者講習会を開催。毎年、200名以上参加。

6 若者・女性経営者研修事業

弁護士を講師に迎え、事業承継のための講演会を開催。



4



5



6

1



3



自然・文化・食
魅力いっぱい
あふれる所や



岐阜 Gifu

2



1 リーダー講習会

県下の商工会青年部の正副部長を対象に、指導者の育成と資質向上を図るための講習会を年3回開催しています。

2 主張発表大会

日頃の青年部活動を通じて得た自らの経験や成果を発表する主張発表岐阜県大会を毎年開催しています。

3 部長合宿

青年部として今何をすべきかを地区の垣根を越えて青年部長が討論する場として部長合宿を毎年開催しています。

4 野球大会

部員同士の交流事業の一環として、創立当初より知事旗争奪商工会青年部対抗野球大会を実施しています。

5 愛の募金活動

全青連100円玉募金事業とは別に地域との連帯を深め、社会福祉貢献を目的に毎年募金運動を実施しています。

6 青年部創立50周年記念事業

1966年3月15日に創立した岐阜県青連は昨年度創立50周年を迎え、記念事業を実施しました。

4



6



5





1 三重県青年4団体防災協定調印式

三重県青年4団体は、平成28年4月に「災害時の被災者支援に関する協定」を結んだ。

2 県青連設立45周年記念事業①

三重県青連設立45周年を祝い、記念式典を実施。式典後には懇親会を開催し、部員間の交流・結束を深めた。

3 県青連設立45周年記念事業②

スローガンとして、「次世代につなぐ商人の絆」～かけがえのない商工会青年部であるために～ を掲げた。

4 県青連通常総会

例年、総会後は部長会議、研修会を開催。28年度の研修会では「三重県版経営向上計画」について学んだ。

5 商工会青年部「絆感謝運動」

6/10商工会の日に合わせ、県下商工会青年部員が公園や河川の清掃等のボランティア活動を行った。

6 あきんど大運動会

運動を通じて、商工会青年部間の交流を促進することを目的に開催。(写真は椅子取りゲームの様子)



富山 Toyama

1 第12回商工会青年部全国大会(富山大会)
「一期一会 青年部生誕の地へ いざ集まれ!」をスローガンに全国から多数の青年部員が参加し、結束を固めた。

2 富山県商工会青年部・女性部連合会 結成50周年記念パーティー
50周年の節目を祝い、「自立自助の精神」などを盛り込んだ大会宣言を採択。その後記念パーティーが盛大に行われた。

3 東日本大震災被災地支援事業
震災を風化させないために、毎年現地を視察。参加者は、それぞれの地元で被災地の現状を伝える使命をもつ。

4 青年部ゼミナール
青年経営者としての資質の向上を図るとともに、今後の事業展開の糧とするために熱心に受講する青年部員。

5 青年部対抗ソフトボール大会
「熱戦」を通して県内青年部の親睦を図るとともに、健康増進並びに地域活性化へ向けての一体感を創出。

6 元気な商工会地域づくり支援事業 事例発表会
提案公募事業で採択され、1年間取り組んだ事業の内容について、県内青年部・女性部員の前で事例を発表。



1



2

海も山も
温泉も幸も
あるげんよ。



石川 Ishikawa

3



1 商工会青年部連合会通常総会

県青連・県女性連それぞれの通常総会を同日に開催した後、合同で懇親パーティーを開催し、親睦を深めています。

2 主張発表全国大会最優秀賞

第17回主張発表全国大会(兵庫)において、森本青年部の鷹箸直樹さんが、本県初となる最優秀賞を受賞し、歓喜に沸きました。

3 「即実践!リーダーへの道」事業

県青連政策委員会がリーダー育成を目的に企画。グループワークにより、リーダーのあるべき姿を討議し、認識を深めました。

4 親睦交流事業

毎年、県内ブロック持ち回りでスポーツ大会などを企画実施。27年度は「バブルサッカー」で汗を流しました。

5 第5回商工会青年部大会

国会議員や中企庁職員を講師に招き、講演会や意見交換会を開催し、小規模基本法や施策について理解を深めました。

6 県下統一福祉増進事業

平成10年から毎年、県下統一福祉増員事業として、「商工会の日」に清掃活動や社会福祉施設の慰問活動などを続けています。

4



5



6



1



3



ミッちゃん
きょうさんあるぞー！



福井 Fukui

2



1 商工会青年部福井県大会

商工会青年部の強化や活性化の為に多くの部員が集結した。

2 商工会青年部スポーツ大会

青年部員間の交流親睦を図るためスポーツ大会（ユニカール競技）を開催した。

3 “絆”感謝運動

レインボー戦隊五湖レンジャー（わかさ東商工会青年部）による美浜町・若狭町内の保育所訪問を行った。

4 経営力強化セミナー

資金繰りやリスク分散、損益計算などをコインやカードを使ったゲームを通じて会社運営のノウハウを身につける研修会を開催した。

5 若手後継者等育成セミナー

自社や地域の活性化を図るためにプレスリリースセミナーを開催。広報術を学ぶために多くの部員が参加した。

6 一乗谷朝倉氏遺跡

携帯電話会社のCMIに起用されたことにより近年注目され、国内でも5例しかない国の三重指定（特別史跡・特別名勝・重要文化財）を受けています。

4



6



5



1



2



滋賀

Shiga

3



4



1 滋賀県商工会青年部ビジネス交流会
他団体を交え、同世代の経営者が交流を通じて自社をPRすることにより、新たな事業展開を創出します。

2 滋賀県商工会青年部女性部 未来創造事業研修会(成果発表)
国や県から支援を受けて実施した特色ある取組みについて発表し、部員同士の相互啓発を図ります。

3 日本一のびわ湖!!
日本最大の面積と貯水量を誇る湖。多種多様な動植物が生息し、場所によって全く違う顔を見せてくれます。

4 滋賀県商工会青年部女性部 未来創造事業研修会(活動事例展示)
滋賀県内各青年部が実施している事業活動についてパネル等を用いて展示し、各青年部の情報交換を行います。

5 滋賀県商工会青年部ソフトボール大会
部員同士の交流親睦を図るためソフトボール大会を実施。各青年部熱くなります!!

6 50周年事業青女合同交流研修会
商工会青年部女性部組織化50周年を記念して、青年部女性部合同で主張発表大会を開催。



5

6



3



2

京都

Kyoto

1 募金活動(長岡京市商工会青年部)

「熊本地震の募金協力、よろしくお願ひします。」

2 京都府ええもんうまいもんフェスタ2012

京都の「ええもんや」、「うまいもん」が一度に会し、大勢の人で大賑わいです。

3 主張発表大会

暑い日に、熱い思いを、熱く語っていただきました。

4 清掃活動(京丹波町商工会青年部)

「タバコのボイ捨てやめましょうね。」

5 碓高原まつり(バザー出店) (京丹後市商工会青年部)

「いらっしやいませ! 間人(たいざ)産のイカ焼きは、いかがですか?」

6 防犯パトロール(向日市商工会青年部)

「横断歩道以外の場所を渡らないで下さいね。」

6



5



1



2

古都・奈良
旅の宝・石箱やで？
行こえ！



奈良

Nara

1 植村和宣全青連会長就任祝賀会①

全青連会長就任の門出を祝い、地元の五條市商工会青年部より、神輿担ぎ。

2 植村和宣全青連会長就任祝賀会②

奈良県より初の全青連会長として植村会長が就任。祝賀会を実施し、全国からお集まり頂き、門出を祝した。

3 県青連創立40周年記念式典①

奈良県青連創立40周年を祝い、記念式典を実施。歴代会長表彰等も執り行われた。

4 県青連創立40周年記念式典②

奈良県青連創立40周年を祝い、祝賀会を実施。これからの奈良県青連の結束を、改めて誓い合う場となった。

5 県青連 部会事業

平成22年度より部会事業を立上げ、再編後、情報ネット戦略・資質向上・地域支援対策で部会事業を実施。

6 県青連チャリティゴルフ大会

県青連の親睦事業として、例年実施。平成28年度のチャリティ金は熊本地震災害支援金として寄付した。

1



2



3



4



6



1 大阪は「ええとこ」だっせ！

大阪といえば、お笑い、くだおれ、ものづくり、あきんどの町。昨今は関西国際空港を玄関口としたインバウンド需要も増加。

2 青年部員として主張をぶつける！

7月に開催される北・中・南ブロックの主張発表大会から大阪→近畿→全国を目指し主張をぶつけます！

3 地域を守る！ 子どもを守る！ 家業を守る！

「青年部の強化、地域・子どもを守り、よりよい街づくりへ」を目的に「まもるんジャワ」事業を実施。

4 子どもの虐待を防止

毎年11月は児童虐待防止推進月間。大青連は、児童虐待防止「オレンジリボン・キャンペーン」に協力しています。

5 ヤングあきんど交流研修会

経営環境が劇的に変化している中で、青年部員等が新たなビジネス・チャンスを生み出すことを目的として実施。

6 チーム大青連

大青連（大阪府商工会青年部連合会）は昭和44年に設立され、現在47周年。50周年に向けて邁進します！

5



1



3

神戸県ちゃんで。
神戸だけちゃんで。



兵庫 Hyogo

2



1 第17回 商工会青年部全国大会 兵庫大会
阪神淡路大震災から20年の節目を迎え、「響周（ひまわり）～20年目の未来～」をテーマに開催。

2 第17回 商工会青年部全国大会 兵庫大会
「復興への希望、商売人の力、伝統の継承力」を、被災地兵庫県から全国で頑張る同志たちと共有し、絆を深めた。

3 経営革新研修会
事業経営の知識や地域社会の情報等を共有し、新しい時代に向けた事業経営に活かすことを目的に平成21年度からスタート。

4 県青連創設45周年事業
平成24年度に、熊本県阿蘇市・門前町商店街と九州北部豪雨災害地の内牧地区へ視察研修を実施。

5 世界遺産「姫路城」と天空の城「竹田城」
①純白の優美な姿が人々を魅了し続ける姫路城(写真上)
②雲海に浮かび上がる姿が幻想的でCMでも話題の竹田城(写真下)

6 城崎温泉・湯村温泉
①夏物語期間中は平日毎日が花火大会・城崎温泉(写真左)
②日本屈指の高熱温泉。湯量が豊富で天然かけ流しの足湯でゆったり湯村温泉(写真右)

4



5



6



1



3



おいしもん
ようさん
あるさかん
おいでらよ



2

和歌山

Wakayama



4



5



6



- 1 全国組織化45周年記念和歌山大会
「道、今こそ 気づき 前に進もう 心ひとつに日本」をテーマに全国から和歌山に結集した。
- 2 全国組織化45周年記念和歌山大会
全国から参加した青年部員は、青年部活動の意義を改めて見つめ直すとともに、組織に対する帰属意識を高める大会であった。
- 3 弘法大師が創建した根本大塔
高野山は、悠久の時を越えても、なお霊山には、弘法大師の祈りが息づいている。2004年に世界遺産に登録された。
- 4 白浜のシンボルとして親しまれている円月島
県南部に位置する「南紀白浜」では日本三古湯の「南紀白浜温泉」や美しい砂浜の「白良浜」など様々な見どころがいっぱいあります。
- 5 部員及び地域との「絆」の強化
各地で発生した災害における復興支援活動を行っています。
- 6 災害対策体制づくりの推進
防災・災害支援対策マニュアルを整備し、緊急時行動力活性化基金を設立しました。

1



3



自然が
ようけあるけ、
鳥取来ないや！



鳥取

Tottori

2



1 50周年を迎え、新たな一歩を

県内青年部員・女性部員が一同に集結した県青連・県女性連創立50周年合同記念大会。未来への飛躍を誓う。

2 中国地方最高峰 大山(だいせん)

見る場所、季節によって様々な表情を見せる名峰大山。

3 絶壁の窪みに建つ国宝 投入堂

三徳山の山岳寺院。その参拝登山は、日本一険しいと言われている。

4



4 真の経営者を目指す青年部員

次世代を勝ち抜く後継者・若手経営者を育てることを目的とした次世代経営者カレッジを開催。

5 透明度抜群 山陰海岸ジオパーク

山陰海岸ジオパークは、多様な地質や地形が存在し、様々な文化・歴史・アクティビティに触れることができる。

6 鳥取発祥グラウンドゴルフで交流

中国・四国ブロック商工会青年部交流会鳥取大会では多くの仲間を迎え、鳥取ならではのスポーツに白熱。

5



6



1



2



歴史と文化、
当縁の国
しまねだぞ！



島根

Shimane

3



1 国宝 松江城

松江のシンボル松江城は全国で現存する12天守のうちの一つ。平成27年に国宝に指定された。

2 うん？なに屋

地域の子供たちに職業体験をしてもらう事業。雲南市商工会青年部が企画運営し、住民にも応援されるイベント。

3 石見のまんなか神楽市

島根県西部の伝統芸能である石見神楽を堪能できる人気のイベント。石見商工会青年部が企画運営を行う。

4 隠岐の島町商工会青年部「夏祭り」

毎年8月に開催される恒例のイベント。青年部が実施主体となり、毎年多くの住民が楽しみに来場。

5 事業承継セミナー

県内青年部員を対象として、事業承継に関する知識習得のため、島根県商工会青年部連合会が実施。

6 島根県商工会青年部親睦会

県内の青年部員の交流を深めるために親睦会事業を実施。バーベキューやボウリング大会などを開催。

4



6



5



1



3



晴れの国
観ても住んでも
ええとこじゃー



岡山

Okayama

2



1 日本の100名城“備中松山城”

現存の天守山城として日本一高い所にあり、雲海が現れることが多い。神秘的な「天空の山城」として有名。

2 夏祭り“うらじゃおどり”

古くから伝わる鬼神「温羅(うら)」の伝説を元にした踊り。参加者が、顔に化粧を施すのが特徴。

3 世界最大級の橋梁“瀬戸大橋”

瀬戸内海の島をつないで倉敷市と香川県を結ぶ10の橋の総称。本州と四国を結ぶ第1号の橋。

4 地域学童ソフトボール交歓大会

毎年、県青連が中心となり、地域発展を担う学童の健やかな育成とスポーツ精神の向上を目的に開催。

5 西日本の軽井沢“ひるぜん高原”

日本最大のジャージー牛の牧場がある高原地帯。西日本を代表するリゾート地の一つとして有名。

6 “ちいさな企業”経済活性化会議

岡山県と岡山県経済団体青年部連絡協議会が、中小・小規模事業者の支援施策等の意見交換会を開催。

4



5



6



1



3



旨いもんから
観光も、
広島えーとこじゃけー



広島

Hiroshima

2



4



- 1 中国・四国ブロック商工会青年部交流会広島大会
1,000名を超える参加者にて開催し、広島ならではの“おもてなし”を提供。
- 2 各種研修会の実施
資質向上を目指し、座学形式のみならずグループワーク形式を交えた研修会を開催。
- 3 スポーツ交流会
ソフトボール、グランドゴルフ、スポーツ雪合戦等様々な競技を通して部員間の親睦と交流を図る。
- 4 災害復興支援活動
異業種の集まりだからこそできる多種多様な支援を計画的に実施。
- 5 提案公募事業事例発表
自ら企画・プレゼンをして獲得した補助金を活用して実施した事業の成果報告。
- 6 献血事業
採血者へ地域の特産品を提供する等、献血参加を呼び掛け。

5



6



1



3



山口の
歴史に触れてくれたら
幸せです



山口 Yamaguchi



2



4



5



6

1 志士の学び舎 松下村塾

久坂玄瑞、高杉晋作、伊藤博文、木戸孝允ら幕末維新、近代国家の原動力となった逸材を輩出しています。

2 山口県PRビデオ撮影

平成28年度の中国・四国ブロック大会開催県として、県内各地域の魅力をVTRに詰め込みました。

3 商工会青年部ソフトボール大会

山口県内の商工会青年部による、山口県知事杯争奪戦。白熱した試合を繰り広げています。

4 青年部主張発表大会

一時は参加者も減少傾向でしたが、地域を盛上げるため各地で意識が高まっています。

5 ブロック大会実行委員会

山口県の各青年部が一丸となり、28年度の中国・四国ブロック山口大会成功に向けて準備中。

6 おいでませ 山口県

みなさんのお越しを心よりお待ちしております。

1



3



海に山に
行きたいところ
よっけあるでよ!



徳島

Tokushima

2



1 第14回商工会青年部 全国大会徳島大会
“愛”・“輪”・“躍”(あわおどり)～ひろがれ、つながれ、阿呆になれ～をテーマに、全国から有志が結集した。

2 第14回商工会青年部 全国大会徳島大会
優れた青年部活動事例を共有し、相互に研鑽することにより、地域のリーダーとしての意識の高揚を図った。

**3 徳島県商工3団体青年部
「次世代プロジェクト」会議発足**
徳島県商工会議所青年部連合会、徳島県商工会青年部連合会、徳島県中小企業青年中央会が「経済飛躍とくしまの実現」に向けて連携した組織。平成20年3月に発足。

4 阿波おどり
世界にもその名を知られた400年の歴史を持つ徳島の夏祭り。街中にお囃子が響き、ぞめきのリズムに身も心も弾む。

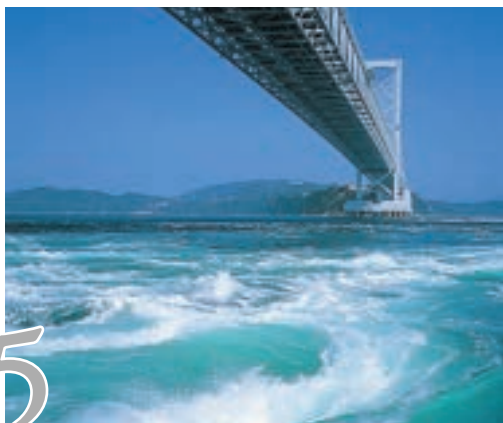
5 鳴門の渦潮
瀬戸内海と紀伊水道との海水の干満によって鳴門海峡に落差が生じ、すさまじい潮流となって豪壮な渦潮が発生する。

6 率先避難企業 ワークショップ開催
率先避難企業としてBCPの前に何が必要か、理解を深めた。

4



5



6





香川

Kagawa



3

1 琴平町 旧金毘羅大芝居「金丸座」

天保6年(1835)に建てられた現存する日本最古の芝居小屋。青年部員も大芝居の運営に協力している。

2 献血っていいね!キャンペーン

献血を行った部員がSNSに写真付きで公開することで、情報発信を行い、県内のみならず全国へ波及させる。

3 県青連ソフトボール大会

毎年恒例のソフトボール大会は41年間続いている。

4 新春福寄せ餅つき大会

国特別名勝・栗林公園にて、県青連女性連合同新春福寄せ餅つき大会を開催、2日間であん餅を4,000個振る舞う。

5 婚活パーティー

商工会婚活応援隊第9回高松パーティーにて、香川県住みます芸人 梶 剛氏が婚活大使に就任。

6 商工3団体連携会議全体会

商工会議所・中小企業団体中央会の青年部と合同で開催し、各団体の事業報告を行った。



1



3



蛇口から
ホンジュース
でんけんのうい



愛媛

Ehime

2



1 戦国水鉄砲！関川の戦い

平成22年から土居町関川河川敷で8月に開催している地域の小学生による水鉄砲を使った陣取りゲーム。

2 鶴姫まつり

青年部員を中心に企画・運営している権伝馬による「鶴姫レース」の様です。貴方も挑戦してみませんか！

3 三間の中山池自然公園

公園の景観を活かし、14,000㎡の敷地内に約10万球のLEDと手作りモニュメントを地元児童生徒と設置している。

4 クラシックCarニバルin小松2015

1980年以前の名車・旧車が全国から大集合。各車が歩んできた歴史を感じ、バザーやライブなどを開催。

5 Z-1グランプリinせいよ

109mの木造廊下で100mの雑巾がけタイムを競います。ご家族・友人と是非チャレンジしてください。

6 ビーチフラッグスin北条かしま

北条沖の鹿島で、約300名の小学生が男女・学年別の6部門で優勝を競う、笑いあり、悔し涙ありの大会。

4



6

5



1



3



高知県は、
ひとつの大家族やき。
高知家には、
コミュニティ力がある。



高知

Kochi

2



4



6



- 1 県青連・県女性連組織化40周年記念式典
変化への挑戦～深化・真価・進化 (NEXT) ～をスローガンに、青年部・女性部が一層の結束を確認した。
- 2 平成23年度中国・四国ブロック商工会青年部交流会
～志(こころざし)をひとつに～をテーマに、中四国青年部員が一堂に介し、交流を通じ、より緊密な連携を図りました。
- 3 高知県青年団体連絡協議会
県内11青年団体が、公共性の高い情報を定期的に交換するための会議及び交流会を行う組織。平成10年に発足。
- 4 青年・女性事業者等活性化セミナー
事業計画書作成におけるノウハウの習得等、経営者としての資質の向上を目指した、充実した研修事業の実施。
- 5 商工会青年部チャリティボウリング大会
ゴルフ、ソフトボール大会の実施も含め、県内青年部員の一層の結束を目的とした、交流事業の実施。
- 6 よさこいまつり
高知の夏の風物詩、「よさこいまつり」。全国より、踊り子2万人が集結。そのパワー、スケールを体感してください。

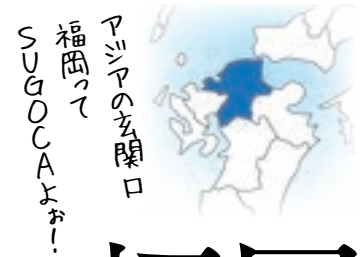
5



1



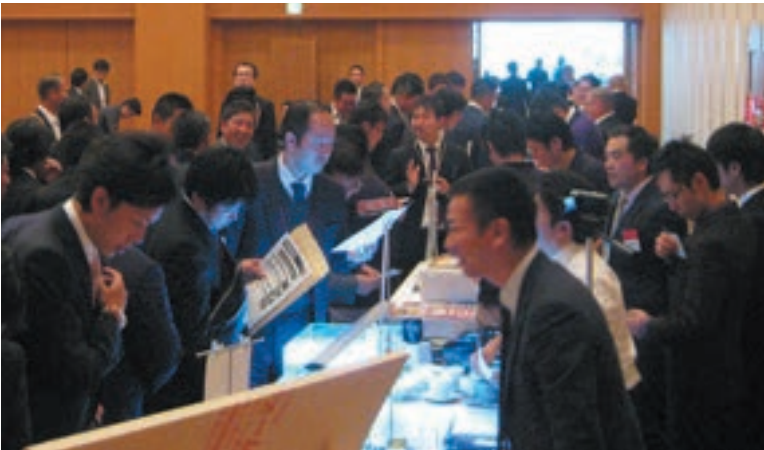
3



福岡

Fukuoka

2



1 第49回通常総会【県青連】

平成28年度県青連スローガン「情熱～青年部員一丸となって商工会事業を積極的に推進していきます！」

2 ビジネス交流会【県青連】

『商売の第一歩は相互に知り合うこと』、部員間のビジネス交流を活性化させ、マッチングする機会をつくり、青年部員同士の新たなビジネスに繋げています。

3 部員研修【福岡地区青連】

部長・副部長・部員グループに分かれ、地域での青年部の役割等についてディスカッションを行いました。

4 『ちくのわ』【筑後地区青連】

『ちくのわ』とは、筑青連が運営する地域の面白情報サイトです。QRコードよりご覧下さい。

5 スポーツ大会【北九州地区青連】

平成28年度、初めての試みとして、『ドッチビー』によるスポーツ大会を実施し、部員間の交流と健康増進を図った。

6 親善ボーリング大会【筑豊地区青連】

大会を通して、部員相互の親睦を図り、盲導犬育成・中国帰国者自立支援のための募金活動を行い、その協会等へ寄付している。

4



5

6



佐賀

Saga



1 県青連創立50周年記念式典

先輩方が築いて来られた歴史と伝統を振り返りながら次の50年に向かって新たな決意をした式典となった。

2 青年部九州大会(佐賀大会)

平成28年9月13日～14日にかけて佐賀市文化会館にて開催、九州各県から約1,300名の青年部員が集結した。

3 佐賀県友好青年5団体調印式

各青年部組織が持つ課題の共有を図ると共に、地域社会の活性化を図るべく友好関係を確立した。

4 県青連ソフトボール大会

部員同士の交流を目的に開催をし、熱戦が繰り広げられている。平成28年度で第49回目の開催となる。

5 若い経営者の主張地区大会の開催

県内17全青年部から発表者を選出し、青年部員で運営を行いながら県大会の出場権をかけ開催している。

6 こども見守り隊の実施

社会貢献事業の一環として安全な地域づくり貢献を目的に県青連事業として、今なお継続的に実施している。

1



3



長崎よかといばい！
来てみんね！



長崎

Nagasaki

2



4



6



1 県青連通常総会・幹部研修会

研修会では「施策の上手な活用について」と「青年部の運営体制」についてを学びました。

2 若い経営者の主張大会

主張発表大会県大会と樋渡社中株式会社 代表取締役 樋渡 啓祐様をお招きしての研修会を開催しました。

3 県外視察研修

青年部リーダー研修にあわせて平成27年度は大阪「大正区ものづくり」の視察研修を行いました。

4 各青年団体の連携強化

青年団体の連携強化を目的に商工会議所、中央会、漁協、農協の青年部との研修会・意見交換会を行いました。

5 青年部リーダー研修会

農商工連携の視察、情報交換を目的に平成27年度は福岡県糸島市へ視察研修を実施しました。

6 ながさき巡礼(教会見学)

県内各地に信仰の歴史と教会があります。平和への祈りを込めて、巡礼の旅をしてみませんか。

5





自然環境が
おりなす
うつくしか景観



熊本 Kumamoto



1 平成28年熊本地震時の炊き出し

平成28年4月14日と16日に震度7を2回経験し、青年部の絆のすごさを実感することが出来た。

2 天空への道(阿蘇山)

熊本県の阿蘇谷から北外輪山までの道路「阿蘇市道狩尾幹線」が「ラビュタの道」と呼ばれている。それは、阿蘇盆地に雲海が発生するとまるで道が空に浮いているかのようになるためである。

3 イルカウォッチング

イルカに会える確率が100%に近い。野生のイルカと一緒にクルージングが楽しめる。イルカウォッチングの後は、海鮮BBQで!

4 熊本城

日本三大名城の1つ。「行ってよかった!日本の城ランキング」で3年連続1位を獲得する。西南戦争の後に焼失した。西南戦争で負けた西郷隆盛は、わしは官軍に負けたのではなく、清正公に負けたのだと言わしめた要塞を極めたお城。

5 県大会

熊本県内9ブロックに分けて開催。県下の青年部員約500人集まって開催される。今回熊本地震の影響で延期せざるを得なかったが、青年部の聖地と言われる熱い主張発表大会と懇親会、ソフトボール大会が毎年開催される。

6 青経塾

青年部員同士が切磋琢磨し、学びの場を自らつくる。現在、熊本県には、天草青経塾が各地に増殖をしている。



1



4



おんせん県って
言っちゃいましたけん！



大分

Oita

2



3



5



6



1 リーダー研修会

毎年様々な講演を企画し、自社の経営発展と地域を活性化させる活動について研鑽を積んでいる。

2 県知事を囲む活動事例発表会

様々な活動の中で、特に功績の高い事例を県知事の前で発表し、県知事より直接激励の言葉を頂く。

3 商工会青年部親善大会

県内青年部の融和と団結を目的として実施。家族連れで参加する部員も多く、毎年にごやかなイベントとなる。

4 青年部ステップアップ事業

各部が事業計画を作成し、プレゼンテーション審査を経て、最優秀賞に選ばれた事業へ補助金を支給する。

5 日本一のおんせん県おおいた

全国で最も多い源泉数を誇る「おんせん県」大分県。ラムネ泉あり、パノラマ絶景露天に、蒸湯、泥湯とバラエティー豊富が自慢！

6 九重(ここのえ)夢大吊橋

歩道専用として『日本一の高さ』を誇る吊橋。四季折々に織りなす大自然の変化は訪れる人々を魅了する。

1



4

人も風土も
あったかいっちゃわー。
日本のみなさん宮崎県。



宮崎

Miyazaki

1 世界農業遺産に認定されました!

高千穂郷・椎葉山地域が世界農業遺産認定されました。農業遺産を守るため、地域の田植えのお手伝いをする青年部員。

2 御田祭

980年の伝統を誇り、宮崎県の無形民俗文化財に指定されている祭。泥しぶきを浴びると無病息災が約束されるといういわれがあります。

3 青年部九州大会(宮崎大会)スタッフ

平成27年10月14日から15日にかけて、シーガイアコンベンションセンターにて開催。九州各県より1,000名を超える参加者のもと盛大に開催することができました。

4 宮崎が誇るレスラー集団、高城プロレス!

「ふるさとを俺たちが盛り上げる!真剣勝負」を合言葉に活動中!笑いをふんだんに盛り込んだエンターテインメントで世界中を笑いの渦に巻き込む!

5 「みやtheキッズモール」

商工青年友好団体の参加により開催された「みやtheキッズモール」。子供たちの職業体験で物販を行う青年部員。

6 スポーツ交流事業 ソフトボール大会

県内の商工会青年部員だけでなく商工青年友好団体や福岡県からは筑紫野市商工青年部にも参加いただき、交流を深めることができました。

3



5



6



鹿児島

Kagoshima

1 鹿児島県青連ロゴ&スローガン

鹿児島県商工会青年部連合会では県青連オリジナルのスローガンとロゴを2年おきに作成しています。今回はソフト路線で作成しています。

2 鹿児島県青連通常総会及びリーダー研修会

通常総会にあわせてリーダー研修会を実施しています。平成28年度は女性講師で受講率もアップ。

3 通常総会時に持ち寄る県内各地の焼酎

通常総会終了後の交流会では県内各地域の焼酎を持ち寄って懇親を深めます。芋焼酎だけでなく黒糖焼酎も多いですよ。

4 今年で42回目の「若い経営者の主張」県大会

県大会のレベルも年々アップ。第42回大会は種子島で盛大に開催されました。

5 鹿児島県青連ホームページ

県青連ホームページ。県青連のさまざまな情報を発信。

6 県青連独自で熊本地震への災害支援

熊本地震発生直後から鹿児島県青連は独自に災害支援を行っています。救援物資搬送、義援金支援など様々な形で県青連や単会青年部でも実施しています。



1



3

ちやうみとう
まーさん
いっぺー
あいびーんどー

2



沖縄

Okinawa

1 平成29年度商工会青年部全国大会決定

「地域」と「地域」の結びつき、「人」と「人」、「商売」と「商売」、次世代へ…。商工会青年部51年目の新たなスタートを、沖縄から繋げたい「かけはし」となる大会にしたい。

2 平成29年度商工会青年部全国大会決定

東洋一と云われている「沖縄美ら海水族館」、一年中楽しめるゴルフや、伝統芸能、琉球料理でおもてなします。

3 琉球舞踊

沖縄県内で継承されている踊りの総称。通常は琉球古典音楽に乗せて踊られ、種類としては、古典舞踊、雑踊り、創作舞踊に大別される。

4 牧志(那覇)公設市場

沖縄産海産物、農産物、加工品、調味料など沖縄県の食材が一同に集まり、食材を購入し2階の食堂で調理してもらえます。2階は食堂が多数あり。

5 県青連40周年記念祝賀会

平成27年11月27日に記念式典・祝賀会を開催した。全青連会長はじめ九州各県青連会長も越えしいたいて、盛大に行うことができた。

6 県青連40周年記念事業

青年部と女性部の合同事業の一環として、「いのちのリレー24時間」飲酒運転根絶チャリティー事業」を実施して、団結を図った。

4



5



6



座談会

これからの青年部・女性部について語ろう



経済産業副大臣
(全国商工会青年部連合会第15代会長)

松村 祥史



全国商工会連合会 顧問
全国商工会青年部連合会 顧問
参議院議員

渡辺 猛之



全国商工会連合会 顧問
全国商工会青年部連合会 顧問
(全国商工会青年部連合会第18代会長)
参議院議員

宮本 周司



全国商工会青年部連合会
会長

植村 和宣



全国商工会女性部連合会
会長

末武 栄子

平成 28 年 11 月 8 日～9 日に、福島県郡山市において『商工会青年部・女性部全国組織化 50 周年記念式典・第 18 回商工会青年部・女性部全国大会（福島大会）』を開催し、成功裏に終えることができました。

半世紀という節目の年を迎え、これからの青年部・女性部のあり方について、このたび、全青連会長・全女性連会長とともに、商工会青年部出身の松村経済産業副大臣、渡辺顧問、宮本顧問にも加わっていただき、様々なお話を展開していきました。
(収録日：平成 28 年 11 月 16 日)

『青年部・女性部組織化50周年 記念式典・全国大会』を終えて

植村 このたびの『商工会青年部・女性部全国組織化 50 周年記念式典』並びに『第 18 回商工会青年部・女性部全国大会』に、本当にお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

当日、約 5,200 名の青年部員、女性部員が参加し、初日は記念式典と初めての試みとなる青年部・女性

部合同の主張発表大会を開催いたしました。

末武 1 日目の女性部の懇親会では、女性部員が約 1,200 名参加し、都道府県青連会長も参加してくれました。

植村 初めて女性部の懇親会に参加した県青連会長は「めったにない機会で、女性部さんとの距離感が縮まった」と喜んでくれています。2 日目は、被災 3 県を代表して福島県の青年部員、女性部員がプレゼンテーションを行い、被災 3 県の思いを伝えてく

れました。午後も引き続き青年部事業を行い、夕方からの懇親会には、約 1,800 名の青年部員が参加して、全ての行事を終了しました。

末武 おかげさまで、全て成功裏に終えることができました。本当にありがとうございました。

植村 構想から約 5 年、女性部とは前期体制から合同の会議を始め、約 3 年の集大成の式典・大会でした。参加者からは非常にすばらしい式典・大会であったとの声を聞いております。

末武 初めは福島県という場所で、かつ青年部との合同で 50 周年記念式典・全国大会を開催することに少し心配がありました。しかし、青年部との会議を重ねていくにつれ、不安は薄れました。

植村 松村副大臣、式典・大会の印象を一言お願いします。

松村 まずは、成功裏に終わられまして、本当におめでとうございました。5,200 人の前に立ったとき、その迫力にすごい組織だと改めて思いました。

また、全国大会開会宣言で、河治徹福島県青連会長の非常に心に染みる言葉に、より一層、福島や東日本大震災後の東北が元気になるように、私たちも頑張らなくてはいけないと思いました。

末武 河治会長の挨拶は感動しました。みんな泣いていました。

松村 そして、副大臣として出席できたことは本当に光栄に思いましたし、皆様のおかげだと、改めて感謝したところでありました。

本来であれば大臣が駆け付ける予定でしたが、どうしても国会の都合で参加できないということで、私にとっては非常にありがたい代理だったなと思っています。

植村 渡辺顧問からも一言お願いします。

渡辺 改めまして「おめでとうございました」と「お疲れさまでした」という言葉を贈りたいと思います。

松村先輩からお話がありましたように、壇上から会場を眺めると、もう壮観という言葉がふさわしく、本当に青年部・女性部の皆さんの心の詰まった、気持ちの入った、式典・大会だったと感じます。

これまで青年部・女性部、それぞれが全国大会を



『商工会青年部・女性部全国組織化 50 周年記念式典』および『第 18 回商工会青年部・女性部全国大会』の様子

開催していましたが、やはり 50 年という一つの節目であるということから青年部・女性部共に、その節目の大会を福島でやろうと決めて、準備をしてきた。その結果が、あの全国大会の大成功につながったのではないかなと思っています。

植村 宮本顧問からも一言お願いします。

宮本 改めて、おめでとうございます。

私はこの春まで現役の部員でしたので、青年部・女性部が心一つに、組織の機運を高めていったことを、近くから見ていて感じました。

各都道府県青連・女性連会長方が中心となって、47 都道府県を順番に動画でつないでいくキャラバン事業は、心も一緒に福島につないでいくという構成でしたね。

末武 動画の撮影は苦労しました。各県の部員さんの個性や地域の特性がわかる動画となっていますので、是非ご覧下さい。

宮本 末武・植村両会長は、リーダーとして様々な負担もあったと思いますが、素晴らしい 50 年の節目を創っていただいたと思っています。

多くの先達、先輩たちが積み重ねてきた 50 年、その節目に国会議員という立場で、また青年部に関わった者として、同席させていただいたことは喜びでもありました。

植村 50 年という歴史の中、今回代表して式典・大会を開催できたことは誇りに思います。

宮本 私の全青連会長任期中、今から 5 年 7 カ月前

の臨時総会にて、松村さんに来賓挨拶をいただいている最中に、あの東日本大震災が発災しました。その後、私も全青連会長を退任後相談役として支援を続けてきましたが、青年部も2年前の新潟大会 - 中越・中越沖地震、去年の兵庫大会 - 阪神大震災、そして今年の福島大会 - 東日本大震災とつながっています。「復興」また「復興からの再生」「創生」というメッセージも込められた本当にいい大会だったと思います。心からの感謝と敬意を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

植村・末武 ありがとうございました。

青年部・女性部 活動の意義について

植村 続きまして、この50年を振り返って、「青年部でよかった」「女性部でよかった」と思うことを教えて下さい。

松村 商工会青年部に入っていなければおそらく、政治の道を選ばなかったと思います。商工会青年部というのは、日本にとって本当に大事な組織です。商工会青年部でいろいろなことを学び、その中で政策や法律に壁を感じての出馬でした。そう考えると、商工会青年部に入っていたことが、今の自分につながっていたのだろうなと思います。

末武 どのような出来事がきっかけでしたか。

松村 振り返ってみると全青連時代、現場の声を聞こうと思い、47都道府県を回った事でしょうか。もともと県青連会長時に「移動県青連」を始め、現場を大切にしていました。

そこには、地域活性化を想い、情熱を持って活動する青年部員やすばらしい青年経営者がいました。

しかし、情報の共有不足や理解不足で苦闘している現状を見た時、「気づき・育ちの場」の必要性を感じ、次世代のリーダーを育成するための「リーダー研修会」を始めました。今なお続けていただいていることは、とてもありがたいです。現場にこそ真実があり、その対策をリーダーとして練っていく姿勢を学んだと思っています。

植村 やはり、各地域を回った分だけ部員さんの声



が聞けるので、私もできる限り全国を回るようにしています。リーダー研修会は様々なビジョンを持った部員さんが集まるのでとても面白いですね。それを通じて青年部員の絆が深まっていくことを実感しています。

渡辺 大人になってから、一生の親友というのはどうしてもできにくいものだと思います。青年部という仲間のつながりは、損得の計算もしないで付き合えて、本当に地域をよくしていこうという純粋な気持ちで一つになれる、同志ができるということは青年部ならではの思いです。

私自身も、県青連の会長を3期務めさせていただいたのですが、就任した当時、県議会議員だったので、初めは充て職的な気持ちで受けました。そんな気持ちで始めた県青連会長でしたが、県青連会長時代の6年間というのは自分の人生の財産だとつくづく感じておりますし、これからもっと年を取って一生を振り返っても、胸を張ってそう言えると思います。

末武 青年部は、限られた時間の中で、こうと決めたときの結束力がすごいですね。

渡辺 単会の部長、県の会長、そして全国の会長という仕事は本当に大変な仕事だと思いますが、数値とか単位では表せない財産が残るはずで。そこには苦労も伴いますが、そういう貴重な人生の財産ができていくというのは、やはり、青年部・女性部の活動を通じて一生懸命務めた人だけが味わえるものかなと実感しています。

松村 青年部に入っていなかったらこの3人も会っていないからね。

渡辺 本当にそうですね。

宮本 出会っていないし、ここにもいませんでしたね。青年部に入った当初は商売優先で、青年部は二の次という感じでしたが、だんだん青年部という存在が商売を伸ばすために必要な存在となっていました。

そこでの出会いと経験は、確実に自分の中に残っています。青年部に入ったことがきっかけとなり今、両先輩と一緒に国政で商工会のための仕事を専門的にさせていただいていることが、振り返ると不思議です。

末武 青年部員という立場からいきなり国会議員という立場になられていかがですか。

宮本 「大変だろう」と聞かれますが、本質的な部分では喜びのほうが強いです。近くにはこの2人の先輩がいる、そして振り返れば、地元石川県、全国に仲間達や先輩・後輩が支えてくれる。この青年部のつながり、青年部の皆さんの存在、またそれを中心とした様々な方々の存在で、今を生かされていると感じます。やはり、商工会青年部、そして女性部の存在意義・価値は、計り知れないと思います。

末武 そうですね。地域活性化のためには商工会はもちろん、青年部・女性部が力を合わせていかないとはいけません。全国の商工会、青年部、女性部の仲間が3人を支え、3人が商工会のために尽力してくれていることを忘れてはいけませんね。

宮本 青年部のミッションとしては、時代が変わってきて、しっかりとした経営者・後継者としての資

質を高めていくことが求められ始めています。

松村さん、その前の寒郡茂樹さん（第14代全青連会長）、この両先輩の世代に「こんなんじゃない駄目だ」、「経営者として資質を高めるんだ」、「経営革新をしていくんだ」ということを組織の中にしっかりと根付かせ育ててきたことが、今の植村会長世代や直前の宮本博史会長世代のときに一気に花開いたように思います。

そして、若手経済団体、青年経済人の団体としても、青年部は本当に計り知れない大きな魅力と可能性を秘める、そんなフェーズにきたのではないかとと思っています。

末武 今、青年部は自己研鑽をしつつ、互いに高め合おうと盛り上がってきているので、次の50年に向けてこれからどのように活動していくかビジョンを示すことが一番大事だと思います。

今回、この50周年式典・大会で何より良かったことは、主張発表大会を青年部・女性部合同で開催したことだと思います。

今まで全国レベルで一緒に主張発表大会を開催したことがなかったので、今回も一緒にやるかどうか決めることが大変でした。「やる、やらない」、「時間がない」、「12人も発表するのは大変だ」って。

一度、女性部は主張発表大会をやらない方向になりました。しかし「青年部だけ聞いて、女性部はどうするのか」という意見も出て、なかなかまとまらず、青年部にはお叱りを受けたこともありました。

結局、「他のことをやめても、一度、青年部の主

張発表がどういうものか、それを女性部に聞いてほしい」という想いを青年部に伝え、合同で開催することとなりました。

終わってみれば、「毎年合同で開催をお願いします」という意見が女性部員から上がってきました。「毎年は難しいけれど、オリンピックと同じく4年ごとにするか」と



いう声が内部だけでなく来賓の方からも上がり、実施できてよかったと感じております。「やはり青年部のエネルギーはすごい」と改めて思いました。

宮本 全国で毎年合同開催は難しいかもしれませんが、県単位だと、私の地元石川県は青女合同でずっと開催しております。春の総会後の懇親会も一緒にしているので、各都道府県に、これをきっかけに少しずつ広めていくのもいいかもしれないですね。

末武 県単位で合同にされているところはありますが、全国大会というのは、各県・各ブロックを優勝された方々の集まりですから、発表の仕方が全く違います。発表を聞いた女性部員は「青年部ってすごい」、「よかった、よかった」と感動していました。

松村 女性部の優勝された方の発表を聞いていましたが、良かったですよ。沖縄県の渡嘉敷島だったかな。平成 24 年に立ち上がった女性部だそうですね。

宮本 末武会長は、その島に立ち上げに行ったのではありませんか。

末武 行きました。2 時間歩いたら島 1 周歩ける、そんな小さな島です。部員になってくれる人がたった 7、8 人しかいませんでしたが、立ち上げました。わずかな人数でも頑張ればできるということを全国の青年部員、女性部員に示してくれました。

自然災害等に対する今後の課題

植村 先ほど宮本顧問から全国大会と災害からの復旧・復興との関係についてお話がありましたが、今年も熊本地震や台風被害等の災害が全国各地で発生しております。青年部・女性部は全国の仲間のために物資や支援金を送ったりしています。被災地支援についてどう思われますか。

松村 やはり、被災地の支援において商工会の活動が評価されているのは、地域に密着していることが大きいですね。災害が起きたときは特に、青年部は消防団等にも入っているので、いの一番に駆け付けることができます。

植村 熊本地震のときはどうでしたか。

松村 熊本地震は 14 日に前震があり、慌てて 15 日



に地元に戻っていたので 16 日の未明に私も被災をしました。16 日の 2 回目の震度 7 というのは、想像だにしませんでした。

その後の商工会や全国の方々からの支援物資、特に女性部には早々に支援金を送っていただき、本当にありがたい一言でした。全国に商工会の仲間がいるっていうのは心強かったですね。今思い出しても胸にぐっときます。

地元から自分でハンドル握って山ほど物資を持ってきたくれるんです。そうして物資を受け取った商工会が、商工会員だけではなくて地域の方々に奉仕として配ったりして、本当に素晴らしいことだったと思います。

植村 このときは SNS で情報を共有していましたが、今後はアプリを使って情報共有をしていきたいと思っております。

松村 商工会は、全国津々浦々にある組織ですから、震災対応のアプリを使ってみんなで共有するというのは、青年部に限らず、備えておくことは良いことかもしれませんね。

末武 青年部はそういうことができて、女性部には SNS・アプリというのはすぐには難しい。ましてや女性部は、被災地へすぐ行くということはなかなかできません。

被災地で青年部が一生懸命に働いてくれるから、女性部はせめてお金で応援をしたいなと思いました。それがあるとき、女性部としてできる精一杯の方法でした。それですぐに 100 円積立基金からお見舞いとして送ったら、そのお金で炊き出しができ

たって、すごく感謝されました。

松村 本当ですよ。被害の大きかった益城町商工会は駐車場で、炊き出しをしていました。それから、届いた物資を配るスペースもあって、住民の皆さんに感謝をされていました。

末武 女性部は、東日本大震災の時は500円玉募金をして、100円積立基金は毎年続けています。その中から、お見舞い金をすぐ出すようにしています。

それに加えて、熊本地震のために募金を送ろうと呼びかけたら、約4,900万円集まり（11月16日現在）、熊本に4,200万、大分に500万、200万円弱を熊本の青年部に送金しました。女性部のために集めたお金をどうして青年部に送ったかという、青年部は困ったときいつも力を貸してくれて、前面にでてくれているのに、青年部には活動するための財源がない。全女性連の理事会で「青年部にもあげたいのだけれど」と相談しましたら、全員の役員さんから「それは素晴らしい」と賛同を得ましたので、熊本の青年部にも送らせていただきました。

渡辺 東日本大震災が、本当に大きな一つのきっかけになったと思います。

先ほど、植村会長が言ったようにSNSの力もあるかもしれませんが、今回の熊本地震の対応からも、青年部・女性部含めて、まさに商工会は1つにつながっているなというのが感じられました。

だから、女性部が「被災地が大変だろう」と思って500円を募金してくれているのも、本当に心のこもった500円の募金だということが、感じられますね。

商工会の青年部、女性部、壮青年部も含めて、商工会ってそういう組織になってきたのかなと自分もメンバーの一員として感じるところです。

松村 やはり、組織の絆のような、顔は分からないけれど、会ったこともないけれど、全国津々浦々にいる家族みたいな、親戚みたいな感じがしましたね。

渡辺 この間、地元の産業祭で南三陸からカキを仕入れてカキめしを出していました。どこで開催しているのかというと、海から遠く離れた岐阜の山の中です。東日本大震災のボランティアで青年部として現地に行っていたから、そういうつながりができて、

今もまだこうしてつながっている。手前味噌になってしまいますが、良い組織になってきたということです、青年部と女性部。

末武 確かに、日本中仲間、友達という感じです。

松村 他の組織にはないネットワークを持っていることは、本当にすごいことだと思いますよ。

末武 だからみんなが、仲間を助けようっていう気持ちはありがたいです。

宮本 能登半島地震が発災した際も、能登に全国の商工会の青年部・女性部からいろんな支援がきて、その優しさや心を寄せていただいたことにすごく感激しました。

その後、新潟県中越沖地震、東日本大震災、豪雨災害が茨城や広島で起こったりしたのを見ると、恩返しをしなきゃ、という気持ちが石川県にありました。毎年、激甚災害レベルのものが続くことは悲しいことではありますが、その都度しっかりと、不安になっている現地の商工会の方々に青年部・女性部が心を届ける。そんなことが安心を生み、また希望を醸成し、商売で、もしくは復興・復旧も含めて、その原動力になると思います。

松村 災害があったときに、青年部・女性部が支援にきてくれるのは本当に安心しますね。

宮本 最近は正確な情報をすぐに入手し、混乱が生じないように、地元でできること、状況が許せば全国の青年部員が現地に入ることなど区分けをしっかりとしていますね。今回の全国大会も一つのきっかけ

にして、青年部・女性部が横の連携も築いてほしいです。

女性部の皆さんには、青年部に何か託すことでサポートをしていただく。青年部はそれを直接的、間接的に届けることで、



その機能性を発揮するというのが、まさに商工会を支える両輪として、さらにこの連携が強まっていくことに期待しています。

末武 最近、いろいろな方から「青年部・女性部に入っていてよかった」という声をいただきます。

植村 今、47 都道府県に青年部独自のあらゆる災害に備えられる災害マニュアルづくりを進めています。宮城・奈良・広島ではすでに完成しており、それらを参考にしながら、各県で考える災害に対するマニュアルを作成してもらっています。青年部だからこそできる行動と非常時の体制が中心となっています。

支援をする際、どこかで物資の調整や制限をかける機能が必要です。今欲しいものが明日欲しいとは限らないし、物資を積んだ車両やボランティア要員がどっと押しかければ、現場が混乱してしまいます。今回の熊本地震のときは九州ブロックが中心となって調整を行い、自衛隊の方々、その他の緊急対応の方々の邪魔にならないように、制限をしながら活動していました。

今後はアプリを使って情報交換をしながら円滑に対応ができるようにマニュアル作りが必要だと考えています。

宮本 熊本地震のときはオペレーションができていたと思います。

当初は益城町商工会会長の会社倉庫を集積所にしていましたが、そのうち倉庫がパニック状態になると、すぐ福岡のほうに拠点を移動させて、青年部を混乱なくコントロールされていたという印象でした。



植村 永田丈士福岡県青連会長に連絡しまして、まず福岡に、中四国や近畿からの物資を受け入れる場所を設定してくれないかとお願いしました。

そこでいったん集約して、1 台のトラックでできるだけ多くの物資を運んで行く方法をとりました。その結果、現場での混乱を抑えられたと思います。実際には、福岡の青年部にはかなり負担をかけてしまいました。

末武 でも、良いことですよね。仲間がそうやって助けてくれるのは、本当にすごいことですよ。

植村 全国津々浦々にあるこの商工会のつながりの強さを実感しました。

これから50年の青年部・女性部に期待すること

植村 最後にみなさまから、これから新たな 50 年に向かう青年部・女性部に対して、何か応援メッセージ等をお願いいたします。

松村 これからまた 50 年、やはり地域の中にはなくてはならない存在ですので、元気で頑張っていたきたいと思います。

一番地域に密着している皆さんに元気でいていただくために、私たちは平成 26 年に『小規模企業振興基本法』という法律も作り、その基本法を基に、いろんな応援プログラムを作っています。

現場の声を聞かせていただいて「元気が出たよ」と言っていたけりよう、私たちも頑張りたいなと思いますし、いろんなご要望もいただきながら実現に向けて頑張りたいと思います。

植村 ありがとうございます。それでは、渡辺顧問をお願いします。

渡辺 50 年という一つの節目を迎えられたわけですが、この 50 年で、青年部魂・女性部魂というスピリットをずっと引き継いできました。

それをずっと引き継いでいこうと思うと、やはりそれぞれの家業がしっかりしていない限り、青年部活動も女性部活動もできません。

そういう意味では、青年経営者・女性経営者とし

での視点を持って、まずは『自分の会社が元気になることで地域も元気になる』という自負を持って頑張っていたきたいと思います。

我々3人は、商工会、青年部・女性部のずっと応援団ですのでご指導いただいて、皆さんの笑顔が見られるようにしたいと思います。

末武 ありがとうございます。私たちももっと頑張ります。

宮本 ずっと繋いできた、最近になってより強くなった絆を守り継いでいかなければいけません。その中で、時代に合わせて変えなければいけない部分は、勇気を持って変えていく必要があります。

それぞれの地域で課題も問題も違いがありますので、「守るところ」と「変えるところ」をしっかりと見極めながら、未来に繋いでいっていただけたらと思います。

職域代表、商工会代表、商工会の中の国会担当という意識で、今後も努力していきますし、青年部・女性部には地域や現場を預かっていただき、そして



松村、渡辺、宮本がチーム商工会として国政で、その環境を改善し、整えるために頑張りますので、一緒に地域を元気にする活動を実現できたらと願っています。

植村・末武 これからの50年ますます我々の家業また、青年部・女性部が盛り上がるように頑張っていきます。

本日はありがとうございました。



全国商工会青年部 50年史

～未来へのおくりもの～

2017年3月 刊行

編集・発行 全国商工会連合会
全国商工会青年部連合会
〒100-0006
東京都千代田区有楽町1丁目7番1号
有楽町電気ビル北館19階

印 刷 ナカガワ・アド株式会社
〒779-3602
徳島県美馬市脇町大字猪尻字若宮南131-2
TEL 0883-52-1643 FAX 0883-52-2080
